



子どもの医療費負担増や私学助成カットなど……。

県民の施策を削減

三位一体改革、地方交付税削減、ムダな大型事業のツケ
みなさんと暮らしを守る予算へがんばります

滋賀県が12日、新年度予算を発表しました。17年ぶりに5千億円を割る「緊縮予算」となっています。県民の願いに反し、福祉・医療施策を削る予算も。ムダをやめ、県民の暮らしを守ることが求められています。日本共産党は県議会・市議会で、暮らしと営業を守る県政・市政へがんばります。

子どもの医療費助成	通院(500円 → 1000円)
現在、野洲市は独自助成で完全無料	入院(1000円 → 1500円)
私学助成(高校生1人当たり)	333000円 → 315000円
障害者の独自負担軽減	廃止
琵琶湖環境研究費	4割に削減

県営ダム	6億円
県警本部庁舎	84億円
同和事業	10億円継続

責任は、政府と歴代県政オール与党にあります

県予算案が5千億円を切る事態となった大きな原因は、小泉内閣がすすめた「三位一体改革」、地方交付税の大幅な削減。滋賀県政における新幹線新駅やダム建設など大型事業推進のツケです。責任は政府と歴代県政、これを後押ししてきた「オール与党」県政にあります。

負担増でなく暮らし守れと要求

日本共産党は、知事がすすめる、県民施策削減と負担強化の「財政構造改革プログラム」に対して、「35人学級」「乳幼児・障害者などの医療費無料化」「障害者自立支援法の県独自補助」「私学助成」など、県民のみなさんと、「暮らし守れ」の運動を進めるとともに、財源も示しながら存続を要求してきました。

「ムダ」使いやめれば財源はあります
「財政構造改革プログラム」

ム」について、日本共産党は、新幹線新駅基金39億円の活用を求めるとともに、県警特殊室40億円、10億円の同和事業終結、ダムなど大型事業、企業誘致奨励金13億円などを削ることを求めてきました。

みなさんと署名・運動をすすめ乳幼児医療費助成の「後退案」改善させることができました

このような「県財政改革案」に対して、日本共産党は、県民のみなさんと「乳幼児医療費助成制度を守れ」と署名・運動を進めました。

その結果、県予算案では、当初の「自己負担増案」から、「通院1500円案を1000円に(現行500円)」。入院1日2000円案を1500円に(現行1000円)に減額させることができました。世論と運動の成果で改善させることが出来ましたが、引き続き、みなさんと県議会・市議会で、負担の軽減、暮らしと営業を守る県政・市政の実現へがんばります。

3月定例会市議会日程

(2月27日～3月26日)

2月27日(水)	本会議(議案提案)	3月13日(木)	常任委員会(議案審議)
3月6日(木)	本会議(議案質疑、代表質問)	14日(金)	常任委員会(議案審議)
7日(金)	本会議(一般質問)	17日(月)	常任委員会(議案審議)
10日(月)	本会議(一般質問)	21日(金)	常任委員会(議案審議)
11日(火)	本会議(一般質問)	24日(月)	常任委員会(議案審議)
12日(水)	常任委員会(議案審議)	26日(水)	本会議(議案討論、採決)

本会議、常任委員会は午前9時から開会です。(11日と26日については午後1時から)ぜひとも、傍聴にお越しください。

「意見・要望を
お聞かせください」

やす民報
日本共産党野洲市委員会
2008年2月17日 140

暮らしのご相談・要望
お寄せください

市会議員 **小菅六雄** (電話) 589-4971 (FAX) 589-6184
(メール) shgdy177@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~kosuga/
市会議員 **野並享子** (電話) 587-0985 (FAX) 586-1102
(メール) no73kyo_ko@ybb.ne.jp (ホームページ) http://www.yasusigi.net/~nonami/